

北朝鮮の強制収容所をなくすアクションの会「NO FENCE」会報

NO FENCE

vol. 52 2019年 3月



〒102-0093 千代田区平河町 1-5-7-203

nofenceinfo@gmail.com

<http://nofence.jp/>

春のお彼岸も過ぎ間もなく桜の季節です。2月、3月の活動を報告します。

2. 9姜哲煥氏ソウルWeb講演報告

去る2月9日当会はソウルから姜哲煥氏に第2回目の米朝会談を前にして北朝鮮情勢や文在寅政権をどう見ているかを中心に見解をお聞きしました。以下はそのお話の骨子と質疑応答での氏のお答えの要点です。

一、金正恩は不正蓄財摘発で権力内の肅清を続いている

- 1) 国家保衛省の幹部も肅清 2017年 保衛省のトップ(保衛相)金元弘を地方に追放。第七處の副部長6名を肅清。これにより国家保衛省による住民統制は弱まっている。
- 2) 人民軍総政治局でも50名殺している 2018年ここにも検閲が入り、100万ドル、200万ドル、300万ドルの不正蓄財を摘発。
- 3) 護衛司令部も査察(昨年末～今年初) 護衛司令官処刑。

二、北の若い世代は金正恩に背を向けている

全国のカラオケ(店)を全て閉鎖、サウナの営業時間も24時間を16時間に短縮。内部の人の意識を変えさせる努力が求められている(USBを送る活動)

三、文在寅が北を支えている

金正恩の体制は今弱まっている。文在寅がそれを支えている(昨年4回会って)。文在寅と金正恩は運命共同体。文在寅は北朝鮮の人権問題の発言を一切封じている。マスコミでも。今一番大きな問題はトランプである。2月末の会談でハッキリするであろう。

トランプの北との取引如何、また文在寅が金正恩に対してやっていることは、北朝鮮人民の奴隸化に加担し、殺人者金正恩を永らえさせることになり、大変な罪を犯すことになる。韓国の政権を変えないと北の民主化は不可能。日本の皆さんに協力をお願いしたいと強調して講演を終えた。

(質疑から)

- ・韓国の保守と若い人たちとの間に断絶がある。斬新な保守が出来ていない。
- ・（強制収容所に変化はあるかという質問に）ヨドック（15号）も広くなつた。价川（14号）も大きくなつた。軍人や公務員の脱北が増えているから。
- ・金正恩はアメリカと韓国とに関係をつけて体制維持をはからうとしている。
- ・（USBを内部に入れる活動を今も続けているかの質問に）政府の財政支援が無くなっているので財政難である。年間4千個～5千個入れるのに14万ドル必要。民間や教会に支援を求めている。送っている内容は教育的効果のある映画など。（「仁川上陸作戦」、高麗朝末期の政治家「鄭道伝」）（文責小川晴久）

「3・1独立宣言百周年と南北統一」

国際会議（ソウル）に参加して 小川 晴久

去る2月27日から3月1日までソウルで開かれた表記の会議に参加してきました。今年の3月1日は1919年3月1日に朝鮮各地で独立を宣言する一大運動が起きて百年を迎えます。当時日本は朝鮮の独立を奪い、植民地にしていました。この独立宣言書を再読していた所でしたので、降ってわいたような参加要請に自然に応じてしまいました。発表時間は5分という短いものでしたが、百年後に日本人としてこの独立宣言書を読んだ反省と、南北統一のために北朝鮮の強制収容所の廃絶が不可欠であるというNO FENCEの立場を主張してきました。最終日の総会でこの国際会議の主催者がグローバル・ピース・ファンデーション、アクション・フォー・コリア・ユナイテッド等であることを知りました。以下に掲げますのは5分のスピーチ用の原稿です。スピーチ出来たのは、またその骨子です。

三一独立宣言、安昌浩と南北統一の鍵・人権

小川 晴久（日本）

一、三一宣言を日本人としてどう読むか

久し振りに宣言文を読んで、丙子修好条規以来の「日本の無信」とは何かを改めて調べてみました。先ず1876年（丙子）の日朝修好条規の第一条は「朝鮮は自主の国である」と規定しています。日露戦争直後の1904年2月の日韓議定書では「東洋の平和」をうたい（第一条）、「大韓帝国の独立及領土保全を保障する」（第三条）と規定しています。その翌年日本は韓国を保護国にし、五年後の1910年に「併合」します。日本が条約で約束した規定をすべて守らなかったことを、宣言文は「日本の無信」と指摘したのです。またこの宣言の実現

は日本を「邪路」から抜け出させる道だと指摘していることも考えさせる指摘です。

1896年から徐載弼 (So Chae-pil, Dr. Philip Jaisohn) らの独立協会運動 (the Independence Club movement) が始まります。この運動は大統領制を目指しているという讒言 (デマゴギー) で高宗を激怒させ、日本の悪意の助言も加わって三年後に解散に追い込まれてしまいますが、もし この運動が継続していたら、1905年の保護国化も1910年の併合もなく、日本の無道な条約無視も防 (ふせ) げたかもしれません。日本の朝鮮侵略の意志は解消しなかったと思いますが、36年間の朝鮮支配は違った形になっていたでしょう。

日本は福沢諭吉の「脱亜論」以来欧米と同じ侵略主義の道を歩みました。大国主義 (Large country theory) の道です。大正時代に石橋湛山たちが経済的な小日本主義即ち小国主義 (Small country theory) を主張しましたが、日本人にとって今日まで小国主義の概念は疎遠です。現在の日本国憲法の第九条「戦争放棄」は実は小国主義なのですが、日本人にとって二つは観念の上で結びついていません。三一独立宣言から今日日本人が考えるべきは、侵略主義の道=「邪路」から抜け出しなさいという促しですし、小国主義への転換です。安倍内閣は第九条を捨てようとしています。世界の平和勢力から与えられた小国主義を捨てて再び大国主義、侵略主義に復帰しようとしています。戦争放棄という第九条が小国主義であることを認識し、小国主義の認識を日本人は急速に高めなければなりません。

二、安昌浩は独立宣言をどう見たか

アメリカで大韓人国民会 (the Korean national assembly) の会長をし、三一直後上海で発足した上海臨時政府の内務総長となった島山安昌浩は、三一独立宣言をどう受け止めたか。意外にも彼らは全く予期しない出来事だったと述べた後、この巨大な意義を直ちに理解し、その布告文で大略次の様に述べました。

「我々の願いは祖国の光復 (Independence) であり、我々の叫びは人権と自由である。この精神によって今日高潔な三月一日が生れた。これは我が民族の精神的な復活 (revival) であり、子孫万代の基礎を打ち建てたのである。」

しかし（祖国の独立は）一時の熱情だけで成功する仕事ではない。どの国も代価なく得た独立はなく、特に我々の事情は必ず戦苦闘し、限りない血を流さないと成功はありえないであろう。我々は覺悟を決めなければならぬ。

我々は国を失った者として人権を無視された悲しみの中にいる。幸いアメリカは共和国として人権と自由を唱道する国であるので、言論界と宗教界に我々の悲しい事情を宣伝し、国際世論を喚起することに努力する。」

独立宣言文には自由の渴望として自由という言葉は使われていますが、人権という言葉は使われていません。しかしそれに当る、正義、大義、人道という言葉は溢れています。安昌浩はそれを人権という言葉に集約しました。注目す

謝罪します。お詫び申し上げます。本日お
べきです。

三、南北統一の鍵・人権

三一独立宣言百周年を迎えるにあたり、その宣言の精神を南北統一にどう生かすかについて述べます。

2014年春国連人権理事会は北朝鮮の人権状況の調査報告書(COI)を採択しました。それによれば北朝鮮社会はその隅々まで人権が侵されています。人道犯罪九項目の全てが侵されています。勧告の中で強制収容所の廃絶と収容者の即時釈放が二番目の上位で主張されています。北朝鮮社会は恐怖社会です。恐怖の根源は強制収容所の存在です。金日成は1968年に反革命分子は三代にわたってその種を絶やせと教示します。反革命分子と認定された者の家族は全て革命化区域という強制収容所へ送られます。本人は完全統制区域という強制収容所へ。公開裁判もなしに。これでは北の若者は行動に立ち上がりません。

北朝鮮は唯一思想体系が採択された1967年5月から全体主義国家になり、1973年までの間に現在のような恐ろしい強制収容所が十二箇所も山の中に作られました。その後数は6箇所位に統合されましたが、収容者の数は20万人前後と推定されています。人工衛星や複数の体験者の手記でその存在は明白なのに、北朝鮮当局は一貫してその存在を否認しています。その存在は北朝鮮が加盟している国際人権規約違反です。強制収容所は北朝鮮当局にとってのアキレス腱です。一昨年暮れまでに国連を中心に国際社会は北朝鮮の強制収容所に焦点を当て、その廃絶と収容者の即時釈放を訴えてきました。昨年は4.27板門店宣言、6.12シンガポール共同声明で、北の人権問題や強制収容所問題が背後に隠されてしましましたが、三一宣言百周年を機に、再び北の人権問題、特に強制収容所問題に世界の関心を当てるべきです。安昌浩が強調した自由と人権の実現です。北に自由と人権を実現しない限り、南北の統一は望ましい形では実現しません。三一独立宣言百周年が教える者はまさにこれです。

〔告知〕

1) NO FENCE総会 2019年4月20日(土)

午前11時～午後3時 於人権ライブラリー(芝大門)

内容 総会(11時～正午)

Web講演(1時～3時)

グレッグ・スカラチウ 北朝鮮人権アメリカ委員会事務局長

—— 米朝会談決裂後の北朝鮮の人権 ——

2) NO FENCE講演会 2019年4月17日(水) 午後1時半～4時半

講師 高英煥氏(元北朝鮮外交官) 於人権ライブラリー